

国際平和デー（2016年9月21日）100日前メッセージ

本日、9月21日の国際平和デーまで残り100日となりました。

「国際平和デー」は、国連及びその加盟国並びに全ての人々が力を結集して平和の理念を広め、世界恒久平和の実現への決意を表すとともに、私たち人類が争いを止め、平和の大切さや尊さを改めて考える重要な一日です。改めて、この「国際平和デー」を強く推し進めておられる潘基文国連事務総長のリーダーシップに心から敬意を表します。

161か国・地域の7,063都市が加盟する平和首長会議では、「国際平和デー」の理念に賛同し、2013年8月に策定した平和首長会議行動計画（2013-2017）に基づいて、これまで世界各地の加盟都市に記念行事開催の呼び掛けを行ってきました。去年は国連創設70周年、広島市と長崎市にとっては被爆70周年の節目にあたり、日本国内はもとより、オーストラリア、ニュージーランド、ベルギー、イラクなど多くの都市で記念行事が行われ、世界平和の実現を祈りました。

今年も、世界中の加盟都市に対して、9月21日の正午、市民一人ひとりが平和への願いを共有し、その実現を祈念する取組を行っていただくよう呼びかけます。

世界は今なお武力紛争やテロの脅威にさらされています。核兵器のない平和な世界の実現を目指し、本日から「国際平和デー」までの100日間、加盟都市が心をひとつにして平和への願いを結集させましょう。

2016年6月13日
平和首長会議会長
広島市長 松井 一實